

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦
 (東証第二部・名証第二部 コード番号:7747)
 問合せ先 取締役 管理本部長 伊藤 瑞穂
 (TEL. 052-768-1211)

2018年6月期第2四半期累計期間の予想と実績値の差異に関するお知らせ

2017年8月10日に公表いたしました2018年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異 (2017年7月1日～2017年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円) ※
前回発表予想(A)	23,423	6,229	6,244	4,382	33.98
実績値(B)	25,409	8,353	8,408	6,160	47.73
増減額(B-A)	+1,986	+2,123	+2,163	+1,778	+13.75
増減率(%)	+8.5	+34.1	+34.7	+40.6	-
(ご参考) 前期実績(2017年6月期中間)	20,403	5,884	6,187	4,245	33.51

(金額の単位:百万円)

※:1株当たり四半期純利益につきましては、2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。

2. 差異及び修正の理由

<第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異内容について>

売上高については、主力のメディカル事業において、特に海外市場における当社製品の需要が予想を上回り大変好調に推移したため、業績予想値と実績に差異が生じました。

国内市場においては、PTCA ガイドワイヤーや貫通カテーテルを中心に好調に推移するとともに、PTCA バルーンカテーテルの新製品が、市場での高い評価を背景に需要が高まり、想定以上に好調に推移いたしました。

海外市場においては、PTCA ガイドワイヤーや貫通カテーテルが好調に推移しており、特に PTCA ガイドワイヤーにおいては、末端需要が増加している事に加え、特需の影響もあり、想定以上に好調に推移いたしました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が当初想定通りの発生となりましたが、売上高の増加に伴い売上

総利益が増加したことなどにより、予想値を上回りました。

このような状況から、第2四半期連結累計期間につきましては、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益について業績予想値と実績値に差異が生じました。

<通期の業績予想について>

第2四半期連結累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしました。通期の業績予想につきましては現在の予想数値を据え置いております。

現時点において、業績は順調に推移しておりますが、メディカル事業の海外市場において、現在継続している特需の影響度の把握が困難であること、為替動向が不透明なこと、また、国内市場において2018年4月に予定されている医療償還価格の引き下げについての具体的指針が未だ決定されていないことなどを複合的に考慮し、2017年8月10日に公表いたしました通期の業績予想からの修正は行っておりません。

ただし、売上高が当初の想定以上に伸びることにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初予想をそれぞれ上回る見通しであります。

改めて通期の業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はありませんが、長期にわたり安定的な配当を継続して実施することを基本方針として、今期の最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する所存であります。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上